

**八尾市健康日本21八尾計画及び食育推進計画審議会  
第1回会議 委員からのご意見に対する市の考え方について**

No.	ページ数 項目 等	ご意見	市の考え方
1	分野「食で元気になる」 子ども食堂について 資料2-3 中間評価一覧表 P1、P5 「朝食を食べない人の割合」	<p>朝食摂取の大切さをこれだけ啓発していても、なかなか改善できない部分について残念に思います。本学においても朝食を欠食する学生がおり、食堂で朝食を提供すると飛びついて食べに来ることから、意識はあっても行動に移せない人が多いのではないのでしょうか。小学6年生以上になると、自分で朝食を用意することができる年齢だと思しますので、「家で朝食が用意されていないから」という理由で欠食するのではなく、金銭的な問題はあるかと思いますが、自分で朝食を用意できるような啓発も考えていくべきなのかと悩んでいます。</p> <p>八尾市内には子ども食堂はあるのでしょうか。</p>	<p>八尾市内に食事の提供を実施している団体（いわゆる子ども食堂）は21団体あります。平日の夕刻や休日に活動しているところが多いですが、小学校の一部を利用し、登校する子どもたちに朝食の提供をしている団体が1団体あります。</p> <p>なお、本市では食事提供の有無に関わらず子どもたちが放課後などに食事や学習、団らんを通じて、安全・安心して過ごせる場所を「こどもの居場所」としており、補助金交付の他、情報発信や情報収集も行っています。</p>
2	分野「栄養・食生活」 「食で元気になる」 学校給食について	<p>食事という部分におきまして、就学前児童の健診に従事した際、学校給食に携わっている先生へ最近の物価高で給食への影響はどうかとお聞きしたところ、内容は変更できないため、量を減らしているとおっしゃっていました。お子さんにとって学校給食は3食のうちの大事な1食にあたるわけですが、量を減らさざるをえないというところで、教育委員会での対策やお考えはいかがでしょうか。</p>	<p>学校給食は、大量の食材調達をはじめ、様々な準備が必要なことから、提供時期の3か月以上前に献立を作成する必要があります。このため、作成から提供までの間に、野菜の生育不良等により想定以上の価格上昇がある場合は、やむなく量の調整を実施することがあります。学校給食は、定められた食材費の中で献立を作成する必要がありますので、メニューや食材の選定など工夫を凝らし、必要な栄養を満たせるよう取り組んでおります。</p>